

科目名	臨床生化学 ②					授業の種類	講義	必修・選択		必修
授業回数	30	回	時間数	60	時間	2	単位	配当学年時期	1年	後期
【授業の目的・ねらい】 生化学とは 生命体で起こる現象を化学的方法を用いて解明する学問である。 臨床生化学では 医療の現場で必要とされる栄養素・体構成物質・代謝等を中心に検証する。										
【実務者経験】										
【授業全体の内容の概要】 細胞内の化学変化を分子レベルで理解し、病気の診断・治療・予防につながる新しい知識を習得する。										
【授業終了時の達成課題（到達目標）】 ① 生命体で起こる反応について 化学的考察方法を 理解できる。 ② 生化学的知識がどのように医療技術に応用されているかを 理解できる。										
回数	講義内容								準備物(教材)	
16	核酸の種類と特性について 理解できる									
17	タンパク合成について 理解できる									
18	遺伝子操作技術について 理解できる									
19	ホルモンについて 理解できる									
20	ビタミンについて 理解できる									
21	ホメオスタシスについて 理解できる									
22	栄養価について 理解できる									
23	体液について 理解できる									
24	血液について 理解できる									
25	尿について 理解できる									
26	免疫系について 理解できる									
27	演習問題：習得した生化学の知識を 説明できる									
28	演習問題：習得した生化学の知識を 説明できる									
29	演習問題：習得した生化学の知識を 説明できる									
30	総まとめ、Q & A									
定期筆記試験										
【使用教科書・教材・参考書】 ・わかりやすい生化学第5版、石黒伊三雄ほか、ヌーヴェルヒロカワ										
【準備学習・時間外学習】 ・準備学習として教科書をよく読んで講義に臨むこと ・疑問点はその場で質問し 解決していくようにしてください ・適宜小テストを実施するため、講義後はしっかりと復習しておくこと										
【単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など）】 試験の結果を100点満点として成績を評価する 小テスト（口頭試問を含む）を60点、定期試験を40点として合計100点とする 60点以上の場合に科目を認定する										